

# 小学生・作文 愛媛県砂防協会会長賞

## 「初めての出来事」

東温市立川上小学校 4年 <sup>にのみや</sup>二宮 <sup>まい</sup>舞衣

今年は、私の周りで初めての出来事がたくさん起こりました。

一つ目は、毎年参加しているバリバリカップというバレーボールの大会の日に特別けいほうが出て、大会に参加することができませんでした。かんとくが、私達の安全をゆうせんして参加しないことを決めたのです。

私達の一し合目の相手は、岡山県の真びというチームでしたが、そのチームの町が、とてもひどいひがいを受けたことをテレビを見て知りました。もしかしたら、し合をして、お友達になっていたかもしれない女の子たちや、その家族の人たちが大変な目に合っていると、とてもかなしくなって、自分になにか出来ることがないかと思いました。

二つ目は、八わたはまのじいちゃんとはあちゃんの家のすぐ近くの山がくずれたことです。

じいちゃんとはあちゃんは、早めに近くの中学校の体育館にひなんして無事でしたが、おぼんに帰った時に、くずれた山やけずられた川を見てこわいなと思いました。

いつもおはかに行く時に歩いていた道も川におちていて通れなくなっていました。

じいちゃんの家のすぐ裏は山のしゃ面です。

はあちゃんが、「これからは、雨がふる時は、帰ってこないようにしてね。」と私達を心配して言っていました。

私は、じいちゃんとはあちゃんのことが心配で、これからも大雨の時は、家にいないで早めに安全な所にひなんしてほしいと思いました。

そして、おぼんにうわ島のおはかまいりに行った帰りに大ず市を通った時、ほとんどのお店がしまっていてびっくりしました。お父さんとお母さんに理由を聞いてみると、バリバリカップの時に大雨でお店の一階の上の方まで水につかってしまっかたづけをしているのだと教えてくれました。水につかってからだいぶたつのに、まだお店を開けることができないなんて、大変なことがおこったのだなと思いました。

また、と中から雨がふり始めると、国道が通行止めになってしまいました。土しゃくずれがあつた所がくずれやすくなつていたためです。

お母さんが出ちょうに行く時にも、土しゃくずれで電車が通れない区間があつたと話していました。

土しゃくずれは一度起きてしまうと、元にもどるまでに長い時間がかかってしまつて、生活する上でこまることがたくさんあるのだな、と思いました。

何より、人の命をうばつてしまふ土しゃくずれが起こるかもしれない場所の近くにいる時は、早めに行動することがたいせつだと感じました。

私も家の周りできけんな場所がないかかくにんしてみました。

私の家は、山のしゃ面に造られただん地にありますが、くずれてくるような場所ではないと思います。でも、出かけている時に大雨がふつたり、けいほうが出た時には、家族といっしょに安全な場所にひなんして自分の命を守りたいと思います。